

資料 1

各主体が実施する 生物多様性保全に関する取組み

大阪市立環境科学研究センター	…	p.1
天王寺動物園	…	p.5
大阪自然史センター	…	p.13
大阪自然環境保全協会	…	p.15
なにわの片葉葦保存会	…	p.17
大阪市エコボランティア	…	p.19
大阪市環境局	…	p.21

各主体が実施する生物多様性保全に関する取組みの情報共有

(様式1)

＜大阪市立環境科学研究センター＞

◆ 取組内容 「 小学校での生き物さがし 」

- ・市内の小学校30校において、春夏・秋冬の年2回(計60回)生き物さがしの授業を実施
- ・対象は小学校4年生(一部3年生含む)
- ・予め校内に設定した観察場所を班ごとに分かれて探索し、発見した動植物の種名を記録.
- ・その場で同定できないものはセンターに持ち帰り、同定後、標本にしてセンター内で保管.
- ・各校で発見した動植物のリストを作成し、今後各校に成果として報告予定.

◆ 取組内容 「 市民向け講座：外来カメの見分け方 」

- ・身近な水辺に生息する外来種の理解を深めることを目的に、大阪市内に生息する淡水性カメ類を観察しながら在来種と外来種の見分け方を座学形式で解説.
- ・対象:天王寺ジュニアクラブ(要望を受けてH30年8月実施)
- ・外来種の定義や生態系への影響、大阪市内に生息する外来種についても紹介.

◆ 取組内容 「 環境イベントにおける普及啓発活動 」

- ・市内で開催される環境イベントにブースを出展し、生物標本の展示・解説等を実施.
- ＜H30年度実績＞ ECO縁日2018, 大阪市自然史フェスティバル, など

◆ 取組内容 「 生物の同定支援 」

- ・市民から問い合わせに応じ、屋内外で確認された生物種の同定を支援.

各主体が実施する生物多様性保全に関する取組みの情報共有

(様式1)

＜大阪市立環境科学研究センター＞

◆ 取組内容 「 両生爬虫類の生息状況把握 」

- ・大阪市及びその周辺地域に生息する両生爬虫類の生息情報を現地調査等により収集.
- ・H30年度はトノサマガエル, ヤモリ類を中心に生息情報を集積.
 - ・・・トノサマガエル:H31年度から遺伝子解析実施(予定).
 - ・・・ヤモリ類 :在来・外来ヤモリの生息確認記録を地図上に集約.

◆ 取組内容 「 北港処分地における衛生動物調査 」

- ・北港処分地南地区(夢洲)において, 衛生動物(ネズミ類, ハエ・ユスリカ類)の生息状況をモニタリング(1986年~).
- ・調査中に採集された外来種等の生息情報を整理し, 一部を研究成果として公表.
例)大阪港湾部におけるアカハネオンブバッタの侵入時期について(山崎ほか, 2016)

各主体が実施する生物多様性保全に関する取組みの情報共有

<団体名>

◆ 過去の取組みにおける他団体との連携実績

○大阪府立大学大学院

- ・昆虫類を主とする生物の同定や各種研究活動での連携，学術的指導.

○大阪市立自然史博物館

- ・館が主催する環境イベント等に出展.

◆ 生物多様性保全の取組みを進める上での課題

○各団体が保有する動植物の生息情報の共有

- ・官民含め，各主体が調査や観察会等で収集する動植物の生息情報が一元的に管理されていないため，活用されにくい.

○活動費（調査研究費）の持続的な確保

- ・調査・研究を持続的に実施するために，外部資金等に応募するなど積極的に予算を確保しなければならない.

○開発に伴う生物多様性損失の防止

各主体が実施する生物多様性保全に関する取組みの情報共有

(様式1)

<団体名> 天王寺動物園

◆ 取組内容 世界野生生物の日イベント「カラスの言い分」

日時： 平成30年3月3日(土) 10:30~16:00

場所： 天王寺動物園内 レクチャールーム、デッキ下イベント広場

内容： 講演「カラスの言い分」
(東京大学総合研究博物館
特任准教授 松原始氏)

WS ジェルキャンドルづくり
(絶滅危惧種モチーフ)

フェイスペイント
(絶滅危惧種モチーフ)

共催： 東京大学総合研究博物館



各主体が実施する生物多様性保全に関する取組みの情報共有

(様式1)

＜団体名＞ 天王寺動物園

◆ 取組内容 生物多様性企画展 「 いきものなにもの？つなげよう！みんなのいのち 」

期間： 平成30年3月17日（土）～4月8日（日）

場所： 天王寺動物園内 レクチャールーム

内容： 標本展示（骨格・剥製）

絶滅危惧種：ホッキョクグマ、スマトラサイ、ベンガルトラなど

日本産動物：ニホンアシカ、タンチョウ、ニホンコウノトリなど

昆虫標本（市立自然史博物館から借受け）

パネル展示： 生物多様性概論、外来生物、絶滅危惧種、日本産動物の
絶滅種・絶滅危惧種、大阪湾の生物多様性、環境省

WWFジャパン： アースアワー2018

生物多様性ビデオ上映（環境省）

【 企画展内イベント 】

3/24 WS「チリメンモンスターを探せ！」（共催： きしわだ自然資料館）

大阪湾で水揚げされたチリメンジャコの中に混じっている、
カタクチイワシの稚魚以外のいきもの「チリメンモンスター」を探す。

3/31 パネルディスカッション

「わたしたちの暮らしと生物多様性～生物多様性ってけっこう身近～」

（共催： 海遊館、南海電気鉄道（株）、市立自然史博物館）

4/7 WS「ペリット、ペリット！！してみる！？」

猛禽類のペリットから、エサのマウス・ラットの骨・毛などを取り出す。



※大阪市生物多様性戦略 具体的施策No.6 関連

各主体が実施する生物多様性保全に関する取組みの情報共有

(様式1)

<団体名> 天王寺動物園

◆ 取組内容 「 国際生物多様性の日 」 イベント

日時： 平成30年5月19日（土）11:00～16:30

場所： 天王寺動物園内 レクチャールーム、デッキ下イベント広場

内容： 「くんくんPlanet～うん香道で旅する地球」（共催： WWFジャパン）

- ・ スタート地点で、5種類の動物のうんちの匂いを嗅ぐ。
- ・ うん香道MAPをもとに、5種類の動物舎をめぐる。
- ・ ゴール地点での「うん香道ミーティング」で、動物園スタッフが解説する。

パネル展示 「にじゅうまる活動と生物多様性」（IUCN日本委員会）

「生物多様性について」（林野庁近畿中国森林管理局）

WS 「子ども出張森林教室～日本のもりの動物を知ろうクラフト体験～」

（共催： 林野庁近畿中国森林管理局）

トークイベント（共催： 環境局）

紙芝居 「生物多様性ってなに？～身近な生物多様性～」

生物多様性クイズ

紹介ブース 「大阪市生物多様性戦略を学ぼう」（共催： 環境局）